

150周年記念キャラクター「たちばにゃん」



橘小学校ホームページのQRコードです。

「輝け！橘っ子」通信

学校教育目標「ともに生きる力としなやかに伸びる力をもち、たくましく夢を追求する児童の育成」
めざす学校「笑顔・あいさつ・思いやりがあふれる楽しい学校」

阿南市立橘小学校
学校だより No.24
令和6年11月8日
校長 上原 小代子



立冬を迎えたとたん日中も肌寒い気候となり、子どもたちが背を丸くして登校する姿が見られるようになりました。桜坂の落葉は落ち着きましたが、まもなく運動場や児童玄関前のイチヨウの落葉が始まります。木がたくさんある橘小学校では、落葉の掃除が本当に大変です。子どもたちにもおびのび班活動で掃除をしてもらうことが度々ですが、自分たちの学校を自分たちの手できれいにすることは、子どもたちの美しい心づくりにつながると考えます。12月1日(日)の創立150周年記念集会まであと3週間となりました。参加してくださる皆様を気持ちよく迎えられよう、出し物はもちろん、お掃除も頑張りたいと思います。

足早に過ぎ去った秋でしたが、今年の秋も橘小学校の子どもたちにとって実りの多い秋でした。まず、今年度も「歯と口の健康図画・ポスター、標語コンクール」に多くの児童がポスター部門で応募しましたが、13人が入賞し、6年生の尾〇さんの作品が最優秀賞に選ばれました。尾〇さんの作品や入賞者の名前は徳島新聞10月23日(水)に掲載されました。また、阿南市セニヤクラブ連合会が発行する月刊誌「セニヤ」には3年生の俳句が掲載されました。「小学校の児童の作品を掲載したいので、ぜひ作品を送ってください」との依頼があり、毎月俳句を作っている3年生の作品を送らせていただいたところ、早速11月号に掲載していただき、児童には1冊ずつセニヤ誌をいただきました。こういう形で橘小学校の子どもたちのがんばりを多くの方に見ていただけることは、本当にありがたいことです。これからも様々な機会をとらえて、橘っ子のがんばりをアピールしたいと思います。

防災フェスタ!

10月27日(日)、橘地区の防災訓練の後、本校の体育館で、自主防災会主催の「防災フェスタ」がありました。徳島文理大学の柳澤先生による「車椅子避難サポート体験」、阿南消防署による「救命救急体験」と「応急手当体験」、防災士の方々による「ロープワーク体験」など四つの体験コーナーの他、非常食や災害時のトイレ用品などの展示やキッズ防災コーナーがあり、参加者は防災について実践的に学ぶことができました。また、今年度もPTA 本部役員さんが防災グッズや子ども向けの非常食配付のお手伝いをしてくださいました。車椅子サポート体験が大変好評で、子どもたちも実際に車椅子を押し、砂利道やぬかるみ、段差や階段で車椅子の前輪をどの角度まで持ち上げるか、サポートしてもらう人に車椅子のどこを持ってもらうのかなど、体験を通して学ぶことができました。今年度も親子で参加して下さったご家庭が多く、防災意識の高さが感じられました。ご参加くださった皆様、お手伝いいただいた PTA 本部役員の皆様、ありがとうございました。



車椅子避難サポート体験



救命救急体験



応急手当の体験



ロープワーク体験



キッズ防災コーナー



防災グッズと非常食配付

150周年記念集会のポスター掲示

12月1日(日)に開催予定の「橘小学校創立150周年記念集会」のポスターやチラシを5・6年生が作成しました。児童・教職員・保護者に加え、地域の皆様にもたくさん参加していただき、にぎやかに祝いたいと、11月5日(火)5・6校時、地域のお店や公民館、郵便局、銀行などにポスターの掲示とチラシの配付をお願いに行きました。どのお店や施設でも担当の方がにこやかに迎えてくださり、お願いを快諾してくださいました。ポスターやチラシを見て、当日たくさんの方が橘小学校に足を運んでくださることを願っています。



文具屋さんでお願いしました。



電気屋さんでお願いしました。



スーパーマーケットでお願いしました。



バスの営業所でお願いしました。

地域の方とグラウンドゴルフ交流

10月6日(水)、6年生が地域の高齢者の方と一緒にグラウンドゴルフを楽しみました。少ない打数でボールをホールポストに入れるのは難しく、苦心した6年生ですが、プレーはもちろん、高齢者の方との会話を楽しむことができました。皆さんとても元気でいらしゃったので、6年生もパワーをもらうことができました。ありがとうございました。



互いの紹介とチーム・ルールの確認



スタートマットからボールを打つ瞬間